

LA NIGRA FLAGO

Organo de Anarkista Federacio Japano

発行所 クロハタ編集局
東京都新宿区北山伏町33(大沢方)
編集発行人 大沢正道

一部20円(税共)・1年240円

日本ナキスト連盟機関紙

クロハタ

大逆事件五十年特集

一月二十四日は幸徳秋水が刑死して五十年がすぎた。この間、われわれ民衆にのしかかって来ていることを、年末に行われた最高裁の砂川判決が、いよいよ明らかにしてくれた。

幸徳の五十年記念を前にして、われわれの眼に国家権力が今もなお、われわれの眼前に同じ黒い手つきで、同じ食欲と愚鈍さで、しなやかに生きていて、その平和憲法が昨今の裁判は、世界的判断によって、とか何とかいってふにきて平然としている。クロボトキンの「法律と権威」にまつまでもなく、法律といふものがわれわれ平和な民衆の生活を守るためのものではなからず、民衆を縛るための権力者、資本家に奉仕するものという性格を、むき出しにしている。またアメリカその他の資本家階級と日本のそれとが対立するものとしてではなく、に計画されているかを、ますますに再検討してみることが、はじまらねばならない。



幸徳秋水と菅野スガ

(1908年9月22日撮影)

(1909年9月22日撮影)

安保調印を 実力行使で 粉碎せよ!

安政改定反対闘争もついに大詰めとなった。岸内閣政府はアイゼンハワー米大統領の談話

下される完全な秘密裁判で、翌年一月十八日に判決が下り、一週間後に十二人の死刑が執行される(菅野スガのみ二十五日)という乱暴きまるものであった。裁判や刑の執行がこれほどいそがしかったのは、内外の反対の世論がたかまるのをそれたためといわれる。当時サンフランシスコにいたナキスト岩佐太郎が天皇に対して激烈な公開状を送ったのはこのころである。

足並みそろわぬ
反対闘争

これに対して安保改定阻止国民会議を中心とする反対闘争は下部大衆の急進な声援があらわれ、いよいよ指導部の足並みがそろわぬどころか、たがいに足を引張り合う醜態が内部でおこされる有様で、決定的な一撃をあたらねぬまま調印の日をむかえようとしている。

既製指導者を 乗り越えて進め!

事象は切迫している。既製指導者どもがインシアティブ争い、内輪もめ、いっしょをぬかしている間に、敵は全権団を編成し、調印から批准にいきまわっている。これに反対して全学連は二万の学生を動員し、滑走路に寝て全権団の飛行機を出させないといふ方針を出しているが、闘いはそれ以上に深刻な段階にきている。

事件の真相を訴える

一月二十四日・国鉄労働会館で開催

五十年記念講演会

大逆事件

大逆事件五十年記念行事の一つとして、事件当日にあたる一月二十四日午後一時、東京八洲口国鉄労働会館ホールで記念講演会が開催される。当日は一人の生

通信をおくろ! 紙代をおくろ! 読者をつくら!

国内国外

12月4日: アイク・欧亜・アフリカの旅へ出発。
12月5日: 米・宇宙サルの回収に成功と発表。
12月8日: 衆院加藤議長「国会を毛規正法案」の要綱を提示。
12月9日: 安保交渉、藤山・マッカイサ間で事実上妥結。
12月10日: 全学連の葉山、清水両君逮捕。
12月11日: 第九次安保改訂阻止統一行動: 新島の村議会、ミサイルの試験射撃の設置を可決。
12月14日: 北朝鮮第一陣新瀉港を占領。
12月16日: 最高裁駐留軍は合意の判決を下す。

御送金は振替を 御利用下さい

東京一四四七二
クロハタ編集局

